

持続的生産強化対策事業のうち次世代国産花き産業確立推進事業に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成 果 目 標 の 達 成 状 況			評価機関名	北海道農政事務所
					①活動区域における花きの流通経路間における輸送効率を向上(%) ②活動区域における花きの流通経路間における積載効率又は労働時間の向上(分) ③活動区域における花きの作付面積の増加(m ²) ④活動区域における花きの消費量又は消費金額の増加(円) ⑤活動区域において花育又は園芸体験を受講した者の花きの購入数量又は購入金額が受講前に比べて増加(%)	増減率	基準年 ①～③平成30年度 ④平成27～29年の3年平均	目標年 令和4年度	達成率		
北海道	札幌市	北海道花き振興協議会	・切り花(スターチス、カーネーション、ゆり、デルフィニウム、ひまわり)	平成31年度	83.4	5	78.4	58.6	-396.0% 未達成	・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・各種マニュアル等の作成 ・複数産地における共同・混載輸送による温度・湿度の影響及びコスト低減効果把握のための輸送実証 ・実証成果の分析 ・成果の普及活動	新型コロナウイルス感染症の影響による需要減少により、取組主体の出荷数量が減少し、対象出荷先への1出荷あたりの輸送トラックを満載にするだけの物量を確保できず目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
			・鉢物(シクラメン、ポインセチア)		75	-37.5%	120	27.7	205.1% 達成	・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・各種マニュアル等の作成 ・通い台車を使用することによる生産者・運送業者における労働時間やコスト低減効果を把握するための輸送実証 ・実証成果の分析 ・成果の普及活動	通い台車を使用することによって労働時間を低減することができ、成果目標は達成されたと認められる。
			・花壇用苗もの(ニューギニアインパチェンス、カリブラコア)		2,490	50%	1,660	1851.2	23.0% 未達成	・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・各種マニュアル等の作成 ・導入品種の特性及び適正把握のための栽培試験 ・実証成果の分析 ・成果の普及活動	新型コロナウイルス感染症の影響による花きの需要減少を見込んで、一時的に作物を移行した生産者や生産規模を縮小した生産者がいたため、作付面積の大幅な増加には至らず目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
			・切り花(スターチス、カーネーション、ゆり、デルフィニウム、ひまわり) ・花壇用苗もの(ニューギニアインパチェンス、カリブラコア)		12,568	5%	11,969	11,804	-27.5% 未達成	・花き関係者の連携、戦略品目の設定 ・展示会、アレンジメント体験、飲食業界と連携した取組	新型コロナウイルス感染症が拡大した時期に連産花きの出荷最盛期等が重なったこと、新型コロナウイルス感染症拡大が長引き、「おうち時間」疲れによって花き全体の購入量が減少したことが要因で目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
			・鉢物(シクラメン、ポインセチア)		30	30	0	11.7	39.0% 未達成	・小学校や福祉施設における花育体験及び園芸体験 ・事業の実施効果の調査・分析 ・成果の普及活動	花育や園芸体験への参加者は、元々花きに興味を持っている方の割合が高いと考えられるため、受講前と受講後と比較して花きの購入金額に大きな変化は見られず目標未達成となった。成果目標が未達成であるため、事業実施主体に対して目標達成に向けた改善計画の提出を求める。

(注) 成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。